

警鐘レポート6 鏡視下手術におけるエネルギーデバイスによる熱損傷に関連した死亡

事例1

< 事例概要 >

- ・ 胃癌で腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行。ベッセルシーリングシステム（高周波）を使用。
- ・ 術中、脾動脈壁に凝固を認めたが出血兆候なく手術終了。術後4日、Hb 4 g/dL台となり、CTで脾動脈の仮性動脈瘤から出血を認め、止血術を施行。約2週間後、胃十二指腸動脈からも出血を認め、止血術を施行。術後、敗血症となり、約3か月後死亡。
- ・ 死因：敗血症。解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。